

9月 全校朝会

令和6年9月5日

9月になりました。先週のISHINAN進学フェアはいかがでしたか？PTA主催で執り行っている行事ですが、近隣でもこのように学校独自でやっている進学フェアは珍しいものだと思います。

高校の先生も3ローテで、3回同じ話をし、人数が少なくてもちゃんと説明をしてくれていましたし、皆さんもしっかりと話を聞いている姿がありました。

保護者の方からも、「大勢の人が集まる大きな進学フェアでは1つの学校を聞くのに1時間近く待ち、数校しか聞けなかったなどということは珍しくありませんが、3つ選んでじっくりと聞く時間があるのはありがたかった。」「子供から初めて高校の話が出た。少しでも興味をもってもらったようでよかった。」など好評をたくさんいただきました。

小さな学校でこれ続けることはとても大変ですが、みなさんの進路選択の幅が少しでも広げることができるのはうれしいことです。来年もまた改善しながらやれたらな、と思います。

1学期にも言いましたが、9月7, 8日の今週末は高校の文化祭がたくさんあります。是非、1年生のうちから遊びがてらでもいいので、楽しみながら足を運んでほしいと思います。

さて、2学期になり、私も音楽の授業にたびたび顔を出すようにしています。合唱祭が近づき、私も校長室まで声が届くと、うずうずして音楽室に行きたくなります。

せっかく、全員の貴重な時間を使って練習に取り組むので、曲の背景などもしっかりと調べて、それを盛り込みクラスのカラーが出るよい曲にしてください。

私も長年音楽教師をやっていたので、今日は合唱祭に向けてのお話をしたいと思います。

#### 1 よい合唱を作り上げるコツ

まずは、どんな合唱に、またどんなクラスになって欲しいか、理想を語りましょう。そして、理想が叶うような計画をしっかりと立てて、具体的な練習計画を作りましょう。けっこうあっという間に11月2日は来てしまいます。あと40日くらいは学校に来る日はあります。しかし、テストも入っていますし、練習できない日も多いかもしれません。

なので、「いついつまでにこれができるようになっていよう！」という練習計画はとても大切なのです。合唱祭実行委員などを中心に、しっかりと練習計

画を立て、パートリーダーも一緒に、練習についての定期的な報告会や打ち合わせ会議をしましょう。本番まで先生たちから言われて動くのではなく、自分たち主導でひっぱることができたら、きっとみなさんはいろいろなことを学ぶことができると思います。

あとは、クラスで寂しそうな人はいないか情報共有をしましょう。クラス全員が歌うことが大好きということは決してないことはわかります。家庭で何かいやなことがあった日、気分が乗らない日、具合の悪い日、いろいろあると思います。歌声は心のバロメーターとも言われていますので、もし落ち込んでいる人がいたらみんなであげましょう。

特に一年生の男子は声変わり途中の生徒も多くいて、男性パートになったにも関わらず、音程がとりづらかったり、低い声がよく出ないこともあると思います。そんな中でも、一生懸命歌っているのに、少し音を外したり、声が出なかったり、歌詞を間違えたりしただけで、友達から何かを言われてしまったらどうでしょうか？

きっと、すぐにやる気がなくなってしまうと思います。いろいろな友達の状態を含めて、みんなであげ合っていてほしいと思います。お互いにカバーできるのが合唱のよさです。全体でどう聴こえるかが大切なのです。

歌が嫌いな人でも、大きな声でしっかりと楽しそうに歌っている人を見たら、「なんとなく自分もやってやるか、声を出してみようか」という気持ちになる、それが友達の力なのではないでしょうか。

「うた・歌う」の語源を調べてみると、こんなことが書かれています。「うた・歌う」の語源は、諸説ありますが、「うった（訴）ふ」であり、歌うという行為には相手に伝えるべき内容（歌詞）の存在を前提としています。また、「うた」の語源として、相手の魂に対し激しく強い揺さぶりを与えるという意味の「打つ」からきたものとする見解もあります。

どちらにせよ、歌には力がありそうですね。

例えば、一人でクレッシェンドをこう（実演）つくったとしてもあまり感動はないのですが、これが20人、30人いたらどうでしょうか？クラス全体のパワーを、ひとつのエネルギーとして感じられるのが合唱のよさだと私は思っています。

ネガティブよりもポジティブで楽しく盛り上げていくことが安心して声を出せるクラスになる早道です。それぞれのクラスであと2カ月弱の時間を有効に使って頑張りたいと願っています。

校長 大木 まみこ